

前期の科目終了時アンケート結果はコチラから参照ください

# 科目コード(準備中)

#### 0000

授業科目名	担当教員名	履修区分	配当年次	開講期	単位	DP対応
金融リテラシー	小倉 泉 松本 康宏	G:選必 D:選必	1	秋	2	準備中

### 科目概要

個人が生活の上で活用するために必要な金融の基礎知識や考え方を身につけ、お金と賢く付き合うために必要となる「金融リテラシー」を学ぶ科目です。事前の知識は必要なく、金融の初心者向けですが、金融の幅広いテーマを扱っています。

	必須	推奨
事前学習科目		
事後学習科目		

### 学びの目的とゴール

- ~ 実務経験者による当意即妙な言葉のキャッチボール
  - 担当教員は、中央銀行、金融機関での実務経験者です。小倉教授は元・日本銀行のバンカーであり、さらに民間金融機関での豊富なマネジメント経験により、講義において深い洞察と本質を見抜いた含蓄あふれるコメントをします。また、企業分析アナリスト出身の松本講師はその分析力を生かしたコメントをします。
    - 2名による当意即妙な言葉のキャッチボールは、受講生を飽きさせません。
- ~ 受講生の興味と学ぶ意欲を大いに刺激する構成
  - ◆ 入門レベル: 本講座は、金融を理解するための入門レベルものであり、特別な知識は必要ありません。皆さんが日常生活の中で、金融取引の内容を理解し、賢明に行い、さらに、金融詐欺などの被害者にならないように、生活者として必要な金融リテラシーを身に付ける上での基本知識の取得をめざしています。
  - スマホ活用: インターネットが普及する以前は、個人が送金、株式の購入など金融取引を行うには、それぞれの金融機関の店舗に出向く必要がありました。それが、パソコンとインターネットの一般個人への普及により、個人が自宅のパソコンを使いインターネット経由でこれら金融取引を行うことができるようになり、さらに、現在においては、スマートフォン(スマホ)の普及により、個人がスマホを使い、好きな時に、好きな場所でいろいろな金融取引が行えるようになっています。本講座でも、スマホを使って行える金融取引を多く取り上げています。
  - ◆ 人生設計に向けて:本講座では、個人のライフサイクルの中で直面する、①子の教育、②住宅購入、③
     老後の生活資金など個人の3大費用項目について取り上げるなど、ライフサイクルを通したお金の動きを理解することで、各人の人生をより豊かなものにできる一助になります。
  - ●最新の金融の潮流: さらに、最近の金融において注目されるトピックについても取り上げます。
  - ●「<u>教授との談話室」:</u>本講座のAC上に開設される「教授との談話室」においても、小倉教授から 随時、最近のホットなトピックや学習、ビジネスに役に立つトピックを取り上げて、解説します。



評価の観点	評価割合	評価の方法
平常点	10%	受講認証を参考に、総合的に評価する。講義はディスカッションの元にもなるた
1 17 35		め視聴は重要。
		ディスカッションへの書き込み状況、およびその内容を授業の趣旨を踏まえた
ディスカッション	ン 40%	投稿になっているかという観点から評価する。また、本講座のAC上に開設する
		「教授との談話室」への投稿等についても評価対象といたします。
最終試験	50%	最終課題の提出状況、およびその内容を評価する。

担当教員からのフィードバック方法		
・AirCampusの発言に対しフィードバックを行う		

教科書	なし
参考図書	なし
書	

#### 教員紹介

# 小倉 泉(おぐら いずみ)

ビジネス・ブレークスルー大学 経営学部 グローバル経営学科 専任教授

外資系コンサルティング会社、日本代表、パートナー

職歴)日本銀行入行後、12年間、営業局、外国局に勤務。その後、民間へ転職。欧州系銀行の支店長、債券本部長を10年間。邦銀の役員(マーケット部門、投資銀行部門、新規事業部門などを担当)を11年間歴任。その後、コンサルティング会社へ転籍、現在に至る。

## 松本 康宏(まつもと やすひろ)

ビジネス・ブレークスルー大学 経営学部 グローバル経営学科 非常勤講師

日系コンサルティング会社で金融業界動向等を分析

職歴)金融機関、調査機関の企業分析アナリスト歴20年超のベテラン。国内外の銀行・証券(JPモルガンチェース銀行、UBS銀行、BNPパリバ証券、ドイツ証券、新生証券)のクレジットアナリスト、国際的な債券格付け機関(スタンダード&プアーズ、ムーディーズ)の格付けアナリストを経て、現在に至る。

回数	学習内容	学習課題	
1	オリエンテーション	● ディスカッション課題	
	まず、本講座にかける講師陣の意気込みを感じてくだ	本講座を受講する目的、動機は何ですか?	
	さい。もちろん、本講座を受講する上での心構え、評価の方法、講座の概要及び学習の進め方について説明します。	金融リテラシーに関して、とくに興味のある テーマ等は何ですか?	
2	キャッシュレス	● ディスカッション課題	
	近年、人々の生活に、現金支払いを伴わない(キャッシュレス)支払いが急速に浸透してきています。キャッシュレスの手段である、カードやQRコードなどの種類とそれぞれの特徴について学びます。	本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。	



		<del>-</del>
3	金利と外国為替	● ディスカッション課題
	金利は、カードローン、住宅ローンなどの借金への利息や、金融資産への投資の利回りなどを計算するうえで重要な知識です。また、海外旅行、投資などで外	本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
	国通貨がより身近なものになり、外国為替の基本を ここで学びます。	
4	お金とは何か~仮想通貨	● ディスカッション課題
	ビットコインなど仮想通貨の価格動向にばかり注目されがちですが、そもそも仮想通貨の仕組みとは、さらには、仮想通貨が投げかける「お金とは何か」という点について考察。	本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
5	最新の金融事情	● ディスカッション課題
	言葉だけが独り歩きしている「フィンテック」ですが、 それが意味するものは何か?我々の生活にどのよう な影響があるのかを考えます。	本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
6	証券会社	● ディスカッション課題
	知っているようで知らない証券会社について。証券会 社の役割、業務についても解説し、証券会社への就 職を検討している学生にも参考になる講義です。	本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
7	ファンド/ベンチャー投資	● ディスカッション課題
	新興企業に資金を提供し、その成長を支えるファンド、 ベンチャー投資について学びます。	本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
8	ノンバンク/保険会社	● ディスカッション課題
	カード会社、リース会社、消費者金融などの金融機関をノンバンクと呼びます。そのノンバンクの役割、業務について学びます。	本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
	保険は社会人にとって身近な金融取引の一つです。ここでは、保険の種類、さらには、典型的は保険である生命保険(死亡保険)を例として、死亡率統計を使い、その仕組みについて学びます。	
9	金融のトピック	● ディスカッション課題
		本講義の感想、本講義に関連して調べら



	近年の金融に関するニュースを掘り下げます。	れたこと等。
10	ライブ講義	● ディスカッション課題 本講義の感想
11	ライフサイクルとお金・保険 ① 個人の生活において、3大費用項目とされている子弟教育、住宅取得、老後の生活について考察します。さらに、個人のライフサイクルの中における、保険の加入タイミングについても考察します。	● ディスカッション課題 本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
12	ライフサイクルとお金・保険 ② 同上の後半部分	● ディスカッション課題 本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
13	金融トラブル① 近年、金融取引におけるトラブルがいろいろと報道されています。それらの事例を紹介しながら、その問題点を確認し、そのような問題に巻き込まれないような知識を取得しましょう。また、問題にあった場合の相談窓口なども紹介します。	● ディスカッション課題 本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
14	金融トラブル② 同上の後半部分	ディスカッション課題     本講義の感想、本講義に関連して調べられたこと等。
15	・まとめ(ライブ講義)	● 本講座全体に対する感想。

※開講や課題出題のスケジュールは、別途配布している配信スケジュールを確認してください。

# 受講上の注意

- •履修にあたっては、前提とする科目や特別な金融知識は必要ありません。
- ・ディスカッションテーマに基づいた発言を求めます。
- ・中間試験はありませんが、最終試験があります。最終試験は全体評価の50%を占めるため、本講座の単位取得には最終試験における課題提出は必須です。
- ※単位認定には、顔認証による本人確認が必要です。